



10種類のペンギンに会える日本唯一のパークへ！
マゼランペンギン・フンボルトペンギンが新たに仲間入り
10種のペンギンの個性に寄り添い、いのちの輝きに出会うエデュテインメント。



マゼランペンギン



フンボルトペンギン

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、マゼランペンギンおよびフンボルトペンギンが新たに仲間入りしました。現在は非公開エリアにて検疫を行っており、2026年7月18日（土）より一般公開を予定しております。

マゼランペンギンは南米アルゼンチンやチリ沿岸に生息し、広大な海と草原が広がるパタゴニア地方を代表するペンギンです。フンボルトペンギンはペルー・チリ沿岸を流れる寒流「フンボルト海流」の恵みを受けて暮らすペンギンで、岩場の海岸や乾燥した環境にも適応しています。いずれも南半球の温帯域に生息する種であり、当パークで暮らすケープペンギンとも、見た目はよく似ている一方で、それぞれ異なる海流や気候、海岸環境に適応しながら生きています。3種を見比べることで、その違いや共通点を楽しみながら、生物の環境適応や多様性について思いを巡らせていただけます。

今回新たな仲間が加わることで、アドベンチャーワールドは10種のペンギンたちに出会える唯一のパークとなり、飼育種数・羽数ともに世界最多施設となります（自社調べ）。一羽一羽の個性に寄り添い、生きる強さや生命の不思議、美しさを感じるエデュテインメントパークとして、私たちはこれからも歩みを進めてまいります。

【2種類ペンギンの一般公開について】

	マゼランペンギン	フンボルトペンギン
公開日	2026年7月18日（土）	2026年7月18日（土）
時間	終日	終日
公開場所	ファミリー広場	センタードーム

※現在は非公開エリアで落ち着いて検疫期間を過ごしています。



【仲間入りするマゼランペンギンについて】

■搬入先：長岡市寺泊水族博物館

■羽数：4羽（オス）

【仲間入りするフンボルトペンギンについて】

■搬入先：新潟市水族館 マリンピア日本海

■羽数：6羽（オス3羽、メス3羽）

アニマルエデュテイナーより

河口智博（かわぐち ともひろ） 温帯ペンギン全般担当

経歴：学生時代よりペンギン愛を拗らせ追いかけて、

極地ペンギン6年・温帯ペンギン4年の担当経験を持ちます。

特技：意外と写真の腕が立ちます。

エポスカードを始めチラホラとパーク内にも提供した写真があります。



「2015年、関西初となるコガタペンギンの飼育がアドベンチャーワールドで始まったとき、当時はまだ飼育係ではなかったので、1人のペンギンファンとして胸を躍らせてました。この度、新たに飼育を開始するマゼランペンギンとフンボルトペンギンを担当することになりましたが、これまでパーク内で暮らす極地・温帯ペンギンを担当してはきたものの正直、不安はあります。しかし、今回迎えるペンギンたちは、それぞれの施設でスタッフやゲストの皆さまに大切に愛されてきた個体たちです。その想いをしっかり受け継ぎ、アドベンチャーワールドでも変わらず多くの方に愛される存在になってほしいと思っています。

もちろん、不安と同じくらい期待も大きく膨らんでいます。これから毎日向き合いながら、マゼランペンギンとフンボルトペンギンならではの魅力を見つけ、その愛おしさを皆さんにもお伝えしていきたいです。」

【マゼランペンギンについて】

■分類：ペンギン目ペンギン科

■学名：*Spheniscus magellanicus*

■英名：Magellanic Penguin

■IUCNレッドリスト保全状況：準絶滅危惧（NT）（※）

■生息地：南米アルゼンチン、チリ沿岸

■食性：アドベンチャーワールドではアジを与えています。

■寿命：野生下では10年～20年、飼育下では25年～30年

■体長：約65cm～75cm

■体重：約4kg～5kg

■特徴：胸に黒いラインが2本あり、両目の上から首にかけて顔を取り囲むように白い羽が生えているのが特徴です。顔や胸の模様は個体ごとに異なります。名前の由来は太平洋と大西洋を結ぶ海峡を発見した、探検家フェルディナンド・マゼランから来ています。



（※）NT（Near Threatened 準絶滅危惧）現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種



【フンボルトペンギンについて】

- 分類：ペンギン目ペンギン科
- 学名：*Spheniscus humboldti*
- 英名：Humboldt Penguin
- IUCNレッドリスト保全状況：絶滅危惧Ⅱ類（VU）（※）
- 生息地：南米ペルー、チリ沿岸
- 食性：アドベンチャーワールドではアジを与えています。
- 寿命：野生下では約20年、飼育下では25～30年
- 体長：約55cm～70cm
- 体重：約3kg～5kg



■特徴：マゼランペンギンやケープペンギンと違いピンク色の地肌の部分が嘴の付け根上部に広くあるのが特徴です。また、日本では多くの動物園や水族館で会える種類でもあります。アドベンチャーワールドでは1978年の開園当初に飼育していた歴史があり、2026年に飼育を再開しました。

（※）VU（Vulnerable 絶滅危惧Ⅱ類）絶滅の危険が増大している種

【アドベンチャーワールドで暮らすペンギンたち】



コウテイペンギン

学名：*Aptenodytes forsteri*
英名：Emperor Penguin



オウサマペンギン

学名：*Aptenodytes patagonicus*
英名：King Penguin



アデリーペンギン

学名：*Pygoscelis adeliae*
英名：Adelie Penguin



ヒゲペンギン

学名：*Pygoscelis antarcticus*
英名：Chinstrap Penguin



ジェンツーペンギン

学名：*Pygoscelis papua*
英名：Gentoo Penguin



キタイワトビペンギン

学名：*Eudyptes moseleyi*
英名：Northern Rockhopper Penguin



フンボルトペンギン

学名：*Spheniscus humboldti*
英名：Humboldt Penguin



ケープペンギン

学名：*Spheniscus demersus*
英名：African Penguin



マゼランペンギン

学名：*Spheniscus magellanicus*
英名：Magellanic Penguin



コガタペンギン

学名：*Eudyptula minor*
英名：Little Penguin

氷点下の世界で繁殖するコウテイペンギン、亜南極地域に生息するオウサマペンギンやジェンツーペンギン、南アフリカや南米沿岸に生息する温帯ペンギンたち、多様な環境の中で進化を遂げてきたペンギンたちを一度に観察できることは、世界的にも貴重な機会です。また、多くのペンギンが気候変動や海洋環境の変化、漁業資源の減少などの影響を受けており、国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストに掲載されています。

アドベンチャーワールドでは、それぞれの種に適した飼育環境づくりや繁殖への取り組みを通じて、ペンギンたちが持つ本来の魅力や生態を伝えてきました。個性豊かな10種のペンギンたちとの出会いを通して、生物多様性の大切さや海洋環境の保全について関心を深めていただき、未来の地球環境を考えるきっかけをお届けします。



【地球の未来を考えるプロジェクト『38℃ MIRACLE Project』】

名付けを通して、ペンギンの世界を守る。コウテイペンギン19羽の名前を募集中！



2026年4月、絶滅危惧種に指定されたコウテイペンギン。

国内随一の繁殖実績を持つアドベンチャーワールドは、彼らの生命から地球の未来を考えるプロジェクト『38℃ MIRACLE Project』を始動いたします。本プロジェクトの第一歩として、2026年6月1日（月）より、パークで暮らすコウテイペンギン全19羽の名前募集を開始します。スタッフが一羽一羽の個性と向き合ってきた「識別番号」という証に、ゲストの皆様から募集した「名前」を重ねることで、命の尊さを世界へ広げる新たなネーミングアクションが幕を開けます。

応募の詳細は、[特設サイト](#)をご確認ください。